

平成 27 年 6 月 22 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

Niantic Labs 提供モバイルアプリ「Ingress」を活用した新しいマーケティングについて

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{ひらの のぶゆき} 平野 信行）は、ICT（※1）を活用した新しいマーケティング施策の一環として、Google の社内スタートアップ（※2）である Niantic Labs が提供している位置情報を活用したスマートフォン用ゲームアプリ「Ingress」とのパートナーシップによるマーケティングを、平成 27 年 6 月 20 日より、開始いたしました。

※1 ICT とは情報通信技術（Information and Communication Technology）の略称です。

※2 スタートアップとは新たなビジネスモデルで新しく立ち上げた創業間もない事業（者）を指します

本件は、三菱東京 UFJ 銀行の支店・ATM（一部を除く）を、「Ingress」上で「ポータル」として登場させるほか、「Ingress」上で、MUFG ブランドを冠した独自アイテムを提供することで、三菱東京 UFJ 銀行をより身近な存在として、お客さまに認知頂くことを目的としております。

また、本件は、銀行業として世界初の取り組みとなり、今後はグローバル展開も視野に、様々な取り組みを行ってまいります。

三菱東京 UFJ 銀行では、お客さまひとりひとりの人生に寄り添う銀行として、最先端の ICT を活用した先進的な商品・サービスのご提供に努めてまいります。

〔ご参考：「Ingress（イングレス）」とは〕

Ingress はモバイル向けの革新的な MMO（Massively Multiplayer Online Role-Playing Game、多人数が同時に参加できるオンラインゲーム）で現実世界と仮想世界を融合させた陣取りゲームです。

プレイヤーは、ゲーム開始時に「Enlightened（エンライテンド）」と「Resistance（レジスタンス）」と呼ばれる 2 つのチームから 1 つを選び、神秘的なエネルギーが溢れる、隠れた「ポータル」という拠点を繋いでテリトリーを拡大していきます。ポータルは現実世界の芸術作品やランドマークとリンクしており実際にそれらの場所を訪れ特定のアクションを起こすことで、ポータルを自陣に取り込める仕組みとなっています。

全世界の Ingress プレイヤーは、200 ヶ国に渡りダウンロード数は合計で 1,100 万回以上を記録しています。

実際に、外に出歩く必要があるというアプリケーションの特性により、複数の地方公共団体の地域振興策の一つとしても、活用が進んでいます。

以 上